

てんさい用除草剤

ベタハーブ[®] フロアブル

素早く効果発現し、各種雑草（シロザ、ハコベ、タデ類、ヒユ類）に高い効果を発揮します。



シロザ



ハコベ



タデ類



ヒユ類



てんさい畑の除草剤として広く使用されている

ベタナールと**ハーブラック**の混合製剤です。

※ベタハーブ600mlでおおよそベタナール400ml+ハーブラック250gの成分投下量になります。



計量の手間を省くことができ、作業性をアップできます。

※レナテンを加用してください。

■有効成分量

ベタハーブ [®] フロアブル		投下薬量	
		ベタナール乳剤	ハーブラックWDG
移植登録	400ml	269ml	170g
	500ml	337ml	212g
	600ml	404ml	255g
	700ml	471ml	297g

※ベタハーブフロアブルの有効成分投下量を各除草剤の薬量に換算したものです。

**混合製剤だから
作業が簡単!!**

有効成分:フェンメディファム9.0% メタミトロン27.0%

除草剤分類

5,5

■適用内容(抜粋) 令和2年12月現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10aあたり使用量		使用方法	本剤の使用回数*
			薬量	水量		
てんさい (移植栽培)	一年生 広葉雑草	移植活着後(雑草発生揃期) 但し、収穫60日前まで	500~ 700mℓ	50~ 100ℓ	雑草茎葉散布 又は 全面散布	3回以内
てんさい (直播栽培)		第2本葉展開後(雑草発生揃期) 但し、収穫60日前まで	400~ 600mℓ			

*フェンメディファム含む農薬の総使用回数/3回以内 ※メタミトロンを含む農薬の総使用回数/5回以内

上手な使い方

レナテンを加用してください。

殺草範囲が広く、
茎葉処理効果も高い。
効果発現が早い**ためカルチの
タイミングも取りやすい。**

移植

移植後日数

1回目散布

ベタハーブ[®]フロアブル
発生量に応じて500~600mℓ(基本は600mℓを推奨します)

雑草発生始期~揃期
移植後20日~25日(散布適期)

《中耕》

※ツユクサ、イネ科雑草が多い場合には
ベタダイヤSの使用をオススメします!

2回目散布

ベタハーブ[®]フロアブル
発生草種に応じて600~700mℓ

雑草発生揃期
移植後40日~50日(散布適期)

※イヌホオズキやヒユ・タニソバ対策に!

てんさいの生育状況、
雑草の葉齢によって
レナテンの量を
加減して下さい。

直播

直播後日数

《発芽は播種後1~2週間》
※温度・水分・覆土の厚さにより異なる

1回目散布

ベタハーブ[®]フロアブル
発生量に応じて400~500mℓ

てんさい2葉期以降
本葉展開後

《中耕》

※第2本葉展開前には使用しないでください。

2回目散布

ベタハーブ[®]フロアブル
発生草種に応じて500~600mℓ

雑草発生揃期
1回目散布の20~30日後

※ベタハーブフロアブルの推奨するレナテン添加量は、基本100mℓ/10aです。最大で160mℓ・水量80ℓ/10aです。

使用上の注意事項

●雑草茎葉にかかるよう均一に散布してください。●本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。また、使用の際は非イオン系の展着剤を加用してください。●本剤は雑草の茎葉処理剤なので、雑草の発生後に処理してください。但し、雑草が大きくなると効果が劣るので適期に散布してください。なお、発生が長期間にわたるタニソバに対しては効果が劣る場合があります。●散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。●散布直後に降雨が予想される場合には使用をさけてください。●散布の際は効力低下をさけるため、噴板の穴径が0.8mm以下の噴霧ノズルを使用してください。●高温時の散布は薬害を生じるおそれがあるので注意してください。●本剤は適用作物以外の作物には薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないよう注意して散布してください。●散布器具や容器は十分に水で洗い、洗浄水は河川等に流さず、環境等に影響を与えないよう安全に処理してください。●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

●ラベルをよく読む。 ●ラベルの記載以外には使用しない。 ●小児の手の届くところには置かない。



ホクレン



ホクサン株式会社

技術普及課/北広島市北の里27番地4 TEL011(370)2280 FAX011(370)2113